

令和3年度（津久井高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上(服務規律の徹底)	法令遵守の意識を向上させ、公私の別を明らかにし、公務外の非行を防止する。	・必要に応じて注意すべき事項を呼びかけ、職員会議等で常時事故防止を確認することにより、服務規律を遵守する意識を継続することができた。
職場のハラスメント(パワハラ、セクハラ、マタハラ等)の防止	研修等で人権感覚を養い、良好で風通しの良い労働環境を形成し、お互いに人権意識を高めあう職場づくりをする。	・職場は風通しがよく、情報共有や意見交換が職員室で活発に行われている。研修を実施しながらハラスメントの防止に努めており、相互の人権意識の尊重につながっている。
児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	人権感覚を磨き、何事にも疑義を持たれないよう指導の場で細心の注意をする。	・令和3年度の重点課題であることをふまえ、全職員による研修動画の視聴や、グループ討議などを重ね、職員の意識啓発を行った。人権意識の向上は見られたが、これからも気を緩めることなく、事故不祥事防止の最優先課題であると考えている。
体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し、体罰や不適切な指導を未然に防止する。	・人権意識を高め、生徒に寄り添う指導を心がけた。今後も改善が必要な事項であり、意識向上に努める。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	マニュアルに基づく確実な処理で入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成における事故を防止する。	・受検生の人生を左右するミスの許されない業務であることを意識し、複数による点検や、マニュアルの遵守などを徹底した。事後は気になった個所を洗い出し、マニュアルの改善を実施する。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の適正管理により流失事故等を未然に防止する。	・個人情報についてはコンプライアンスの向上が必要な事項として、本校の重点課題に位置付け、今後も意識啓発に努めていく。研修も計画し、事故不祥事を絶対に起こさない職場づくりに取り組む。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通ルール・マナーを遵守し、違反者ゼロ、交通事故ゼロを継続する。	・立地から自家用車通勤が多いので、これからも交通事故を出さないよう、安全に努める。特に冬季は要注意となるため、マナーアップに努め、交通法規の遵法意識を高める。
業務執行体制の確保等(情報共有、相互チェック体制、業務協力体制)	情報共有と相互チェックを徹底し、業務執行上の事故を未然に防止する。	・グループリーダー中心に、密な情報共有がなされており、協力体制も確保されている。今後も業務の精選をし、働き方改革につなげていく。
財務事務調査指導等の適正執行	不適正な会計処理をしない。私費・県費の会計処理をルールに則り適正に執行する。	・財務課からの指摘事項があったので、速やかな改善を実施し、会計の適正な執行を心がける。繰越金額の割合については生徒数の減少も視野に入れながら、検討を続ける。

○ 令和3年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和4年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

風通しの良い職場づくりは概ね達成できているが、令和4年度も引き続き報告・連絡・相談を徹底し、事故不祥事防止を徹底する。また、令和4年度には育児等に関わる職員が複数名いることから服務管理や業務分担等にも十分に留意する。

令和4年度は引き続きセクハラの防止と、個人情報の適切な管理に重点をおき、管理職及び総括教諭を中心に、本校から絶対に事故を出さない強い意識をもって、不祥事ゼロプログラムを遂行する。さらに、交通安全についても生徒への交通安全教育の強化を図るとともに、教職員への指導も継続していく。